

モニタリングレポート(令和4年度)

施設名	ベルホーム				
施設所在地	鈴鹿市江島町3447番地の5				
指定管理者名	社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会				
評価担当課	障がい福祉課	問合せ先	059-382-7626		
施設の運営状況	(確認方法)月次報告, 事業報告書				
生活介護利用登録者 (年度末)	44名	延べ利用者数	6,184名	平均利用者数	24.5名
日中一時利用登録者 (年度末)	2名	延べ利用者数	5名		
事業収支	(確認方法)事業報告書				
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
指定管理料	31,149,000	31,149,000	0		
介護保険事業収入	0	0	0		
障害福祉サービス等事業収入	77,918,000	78,235,084	317,084		
その他	712,000	712,360	360		
事業活動収入計	109,779,000	110,096,444	317,444		
人件費(給与・法定福利費等)	91,010,000	90,696,119	▲ 313,881		
事業費	4,149,000	4,330,780	181,780		
諸謝金	68,000	64,000	▲ 4,000		
保健衛生費	361,000	361,398	398		
教養娯楽費	146,000	137,624	▲ 8,376		
消耗器具備品費	1,078,000	1,299,495	221,495		
車両費	2,496,000	2,468,263	▲ 27,737		
事務費	20,114,000	20,092,302	▲ 21,698		
福利厚生費・旅費・研修費	649,000	649,643	643		
事務消耗品費・印刷製本費	317,000	315,576	▲ 1,424		
水道光熱費	3,518,000	3,291,406	▲ 226,594		
修繕費	643,000	437,515	▲ 205,485		
通信運搬費	470,000	476,460	6,460		
業務委託費	9,635,000	9,613,201	▲ 21,799		
手数料	486,000	928,896	442,896		
保険料	582,000	581,680	▲ 320		
賃借料	2,832,000	2,813,942	▲ 18,058		
租税公課	3,000	2,634	▲ 366		
保守料	974,000	973,940	▲ 60		
渉外費	5,000	4,309	▲ 691		
雑支出	0	3,100	3,100		
負担金	16,000	16,000	0		
事業活動支出計	115,289,000	115,135,201	▲ 153,799		
事業活動収支	▲ 5,510,000	▲ 5,038,757	471,243		
施設整備等による収支	▲ 2,640,000	▲ 2,640,000	0		
その他の活動による収支	▲ 5,680,000	▲ 5,669,728	10,272		
当期資金収支	▲ 13,830,000	▲ 13,348,485	481,515		

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価)	月次報告書	○	適切に履行されている
	現地調査	○	適切に履行されている
	定例報告会	○	適切に履行されている
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価)	アンケート	優良	要望はあるが、利用者は満足している
	現地調査	優良	利用者への支援内容は適切である
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価)	貸借対照表 (拠点区分)	○	純資産がプラスである。
	年度事業報告書 (収支計算書)	△	本年度収支はマイナスとなっているが、前年度までの資金残高により調整できており問題は無い。
	年度事業報告書 (財産目録)	○	資産が負債を上回っている。 (差引純資産がプラス)
年度業務報告書の内容評価			(適)・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力いずれの点においても優秀な内容である。			
定例報告会の頻度と内容の評価			(適)・不適
月1回の定例報告を受けている。 課題等については、随時協議を行っている。			
緊急時の対応評価			(適)・不適
重大な事故の発生はなく、業務内容から発生する事故(怪我など)への対応は適切におこなわれ、必要な報告は月次報告でされている。 また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策も適切に実施している。			
指定管理者の総括評価			(適)・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力に問題はなく、緊急時の対応も適切に行われている。利用者アンケートの評価及び利用者からの信頼も高く、安定したサービスの提供を行っている。			
施設の課題と対策			
今後も利用希望者の増加が予想されるため、利用希望者のニーズに答えられる体制を構築していく必要がある。けやき棟の屋根や外壁が老朽化しており、改修工事にあたっては障害特性に応じた配慮が必要である。			
施設の方向性			
利用者からは安定した施設の運営が求められており、施設の継続は必須である。 引き続き、利用者の満足度を向上させる運営を行っていく。			